



3年学年だより

発行日：令和 7 年 11 月 28 日(金)

発行者：横浜市立南高等学校附属中学校

学校長：二上 直子 NO. 7

生徒会役員選挙が行われました！

11 月 18 日(火)に新生徒会本部役員を選出する立会演説会が行われました。Google Meet を活用して演説会が実施されましたが、画面を通してでも全校生徒に話をするのは、とても勇気のいることです。候補者たちにとって、それぞれの想いを熱く、そして丁寧に伝える素晴らしい場となりました。その言葉を聞く生徒たちの眼差しも真剣そのもの。投票の結果、次期生徒会本部役員が以下の通り決定しました。

【13期 新生徒会役員】

生徒会長	2 年 4 組	■■■■	さん
役 員	2 年 2 組	■■■■	さん
	2 年 2 組	■■■■	さん
	2 年 4 組	■■■■	さん
	1 年 2 組	■■■■	さん
	1 年 4 組	■■■■	さん



13 期生徒会本部役員の皆さん

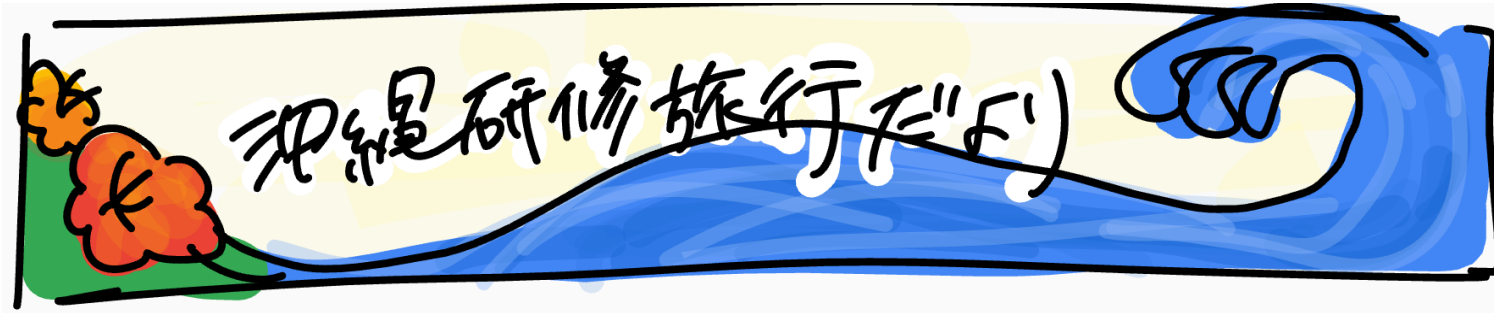
今年度、生徒会本部は「Renew a Link」という生徒会目標を掲げ、活動しています。附属中開校から使用されていた「クラスポスト」を変更したり、持ち物やルールの在り方をもう一度考え直すなどしたりして、学校を「Renewal」できることはないかとさまざまな視点を持ちながら話し合い、実践しているところです。また、生徒会目標の達成に向け生徒会各種委員会にも投げかけるなど、それぞれの委員会が主体的に考えてもらえるような取組も行いました。そうした活動や全校企画等を通して、学校が「Link」し、つながりの強い学校を目指していきます。今後、12 月から 3 月までの 4 カ月は、現役員と新役員がともに活動することで、生徒会活動の引継ぎとパワーアップを目指していきます。

本部役員が附属中生の代表として活動していきますが、附属中学校を作っていくのは全校生徒のみなさんです。これまで、附属中の先輩方が積み重ねてきた伝統を引き継ぎつつ、より良い学校にしていくために、一人ひとりが学校生活について、考えていくことが必要とされてきます。さまざまな生徒会活動(各種委員会活動や、クラスの係活動、学校行事など)の一つひとつがみなさんにとっての成長のチャンスです。創意工夫のある生徒会活動を通し、附属中生が心身ともにより大きく、たくましく成長することを願っています。

(中学生徒会部担当)

新旧生徒会本部役員（バトンを繋いでいる途中です）



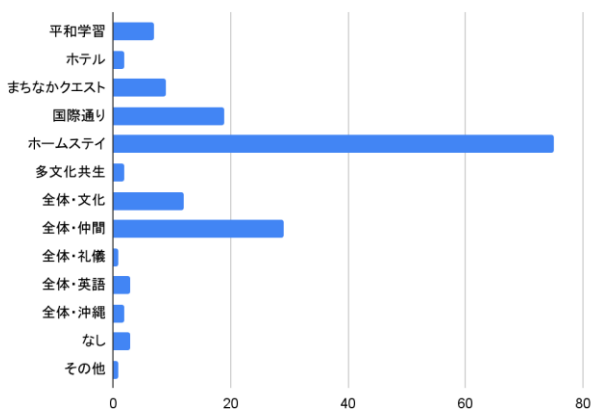


10月の沖縄研修旅行から早いもので約2ヶ月がたちますが、私達実行委員は、最後の取り組みとして学年だよりに3ページを頂き、皆さんに回答していただいた事後アンケートを分析しまとめています。なぜわざわざこのような取り組みをしたのかというと、12期の皆さんにこの研修旅行をやりっぱなしにするのではなく、最大限活かして成長してほしいと思ったからです。沖縄で学んだこと・培ったものをこれからの学校生活に活かし、卒業に向けて高校入学に向けて最高の12期生になるために、ぜひ研修旅行を思い出しながらこの報告を丁寧に読み、それぞれが反省と新たな目標を胸にあと数ヶ月を過ごしていきましょう。

事後アンケート結果

目標について

(1)互いに尊重し合うことはできましたか 具体的に、どのようなことを尊重しましたか



この質問では9割以上の方が達成できたと回答していました。ホームステイにて Respect を意識した行動ができたという人が多いように思われます。「ホストファミリーの文化を尊重できた。」という声が多く上がりました。

また、研修中の活動において仲間の意見を尊重できた人も多いように思われます。多くの人がお互いを気遣って活動できていたようで、「ホテルでの生活で、仲間の生活リズムを考慮して活動した。」「国際通りの班別行動にてメンバーの要望を受け入れ、皆が楽しい活動ができた。」といった声が上がりました。

初めて触れる考え方や文化に親しみ、また、仲間の新たな一面を知ることができていました。それらを受け入れ、ホストファミリーや仲間と相互理解の深化に努めました。

(2) 周りを見て行動することはできましたか 具体的に、どのような場面で周りを見ることができましたか

この質問では9割以上の方が達成できたと回答していました。特に、活動の進行のために時間を意識して次の活動に向けた行動を意識している人が多かったです。非学校関係者に迷惑がかからないように、道で広がらないことや公共交通機関の利用の仕方に注意できた人も多かったように思います。また、自分だけではなく、周りの人に周りをみる意識を広げるために、呼びかけをしていた人もいました。

(3) いろいろなことに挑戦できましたか 具体的に、どのようなことに挑戦しましたか

この質問では9割以上の方が達成できたと回答していました。また、多くの生徒が具体例にホストファミリーとの英会話を挙げていました。ホームステイやイングリッシュクエストを通じて積極的に英語で会話し、食文化やハーリー体験など初めてのことに挑戦しました。間違いを恐れず質問や会話を広げる努力をし、異文化理解や仲間との協力を深める貴重な経験となりました。

(4)何回でもやってみることはできましたか。具体的に、どのようなことにくり返し挑戦することができましたか

この質問では 9 割以上の方が達成できたと回答していました。特に、ホストファミリーに伝えたいことが伝わるまで話しかけることや、ハーリーやイングリッシュクエストといったアクティビティなどの場面でできるまでやるということを意識している人が多かったです。

「目標について」 全体まとめ

多くの人が目標を達成できたと回答していた。特に、ホームステイやイングリッシュクエストなどの英語を使う場面でこの目標を意識して、英語を積極的に話したり、何度も繰り返し伝えようと努力できたという声が多かった。また、異文化に触れる際にもこの目標を意識して互いを尊重し、恐れずに挑戦することができた。初めて体験することにも果敢に挑戦し、良い結果を得るためにどうしたらいいのかを考え、何度も行動に移すことができた。

スマホについて ✨

(1) スマホ持ち込みに対する意見

○持っていった人

写真撮影や緊急連絡のため、地図、検索、キャッシュレス決済などのために持っていった。安全確保のためやより良い研修旅行のため、持っていく判断をした人が多くいた。

○持っていかなかった人

トラブルに巻き込まれないために持っていかなかった。持っていかなかったことで、英語でのコミュニケーションの自分の課題がわかったと感じられた。

→持っていくにしても持っていないにしてもメリットがありました。多少のデメリットも考えられます。

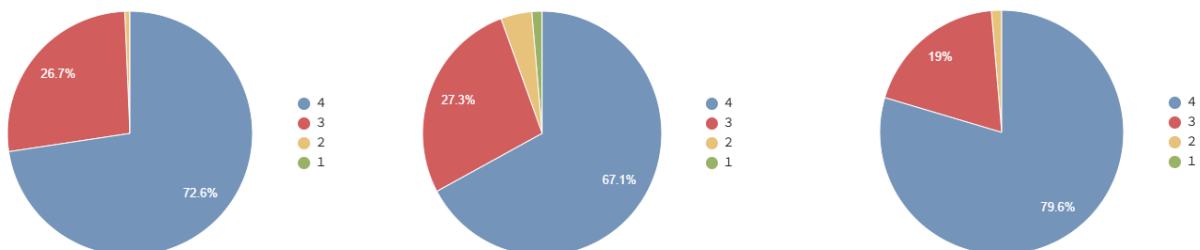


(2) スマホの利用は適切だったか

今回の沖縄研修旅行では、ホテルやホームステイ先では主に写真撮影にスマホを利用したという生徒が多くみられました。また、国際通りでは写真だけでなく、はぐれたときの連絡手段として使ったり、マップで場所を確認したり、キャッシュレス決済をしたりと、状況に合わせながら適切にスマホを使っている様子がうかがえました。バスや飛行機の中から景色を撮ったり、ハーリーの様子を撮影したりと、その他の場面でもスマホの便利さをうまく活用していました。

スマホが役立ったと感じた場面については、「写真を撮ることで思い出を残せた」という意見が特に多かったです。ほかにも、マップや連絡手段としての使用が役立ったという意見がみられました。

ホテルで適切にスマホを使用できましたか？(できた4→1でできなかった) ホームステイ先で適切にスマホを使用できましたか？(できた4→1でできなかった) 国際通りで適切にスマホを使用できましたか？(できた4→1でできなかった)



(3) これからのスマホルールについて

トラブルに関しては、「なかった」と答えた人が約9割を占めていたため、問題なく使えていたことが分かりました。使い方についても「問題なかった」と答えた人が多かったが、SNSの利用や使っているときの判断、バスの中など必要性を感じない場面での利用に対しての疑問も多かったです。これからのルールの改定については、不適切な場面での使用やSNS・ゲームの使用の規制など、スマホの使いすぎに関する懸念や、ルールやマナーを守れない人が出てくることへの懸念が考えられます。思っていた以上にみんな学校内でのスマホ使用に対する懸念が多かったです。

(4) まとめ

今年の沖縄研修旅行は、学年としてルールを検討したうえでスマートフォンを持参することとした研修旅行でした。沖縄研修旅行前に実施したアンケートでは「ルールを破ってしまう」「自制できない」などという不安が多く見られました。スマホ使用のルールの境界線が曖昧な部分もあり、自分で判断することが必要不可欠となりました。

今回の沖縄研修旅行では、アプリ等の制限はありましたが、使う場面についてはみんなの自制心に託すという形となっていました。それでも、みんながそれぞれで場面に応じた適切な使い方を考え、ルールを守りながらきちんと活用できていたことがアンケートからもよくわかりました。そして何より、沖縄での楽しい瞬間を写真という形で残せたことは、この研修旅行の大切な思い出になったと思います。ただ楽しむだけでなく、ルールを守りながらうまく活用できていて本当によかったです。

高校に進学した際には、スマホの使用が自由となるからこそ、自分でスマホの使い方を考え、自制・自律することが大切です。そのためにも、今回の経験を活かして一人ひとりが適切なスマホの使用を考えていく姿勢を大事にしてほしいと思います。

【🌟 研修旅行の MVP 🌟】

たくさんのご応募ありがとうございました！特に票が多かった、個人賞 TOP5、団体賞 TOP3を発表します！

🌸 個人賞 🌸

- 第一位・■■■■さん…委員会や研修旅行全体を引っ張ってくれました！
- 第二位・■■■■さん…夕食などいろいろな場面で盛り上げてくれました！
- 第三位・■■■■さん…ハーリー優勝おめでとう！！
- 第四位・■■■先生…研修旅行をよりよくしようと、何年も前から計画してくださいました！
- 第五位・自分…それぞれが全力を尽くしました！

🌴 団体賞 🌴

- 第一位・沖縄研修旅行実行委員
- 第二位・みんな
- 第三位・先生方

🗨️ おもしろエピソード集 🗨️

- 【ホテル人狼】人狼になった■■■■先生、なぜかずっと無言でみんなに笑われる
- 【信者】「JTBの方におすすめされたから」先生たち、同じバームクーヘンをそろって購入
- 【米軍基地に入ってみた】挙動が不審すぎて荷物検査されたんだがwww
- 【ホームステイ】ホストファミリーのジョーク「土曜日はお店の食べ物無料」全員が真に受け大爆笑
- 【フード】ホームステイでみかんカレー食べてみた

委員長から

沖縄研修旅行お疲れ様でした。事後アンケートの分析の MVP でこの委員会を多くあげていただきましたが、さまざまな場面でこの研修旅行に協力していただいた 12 期生の皆さん・保護者の方々のおかげで私達実行委員会は活動してることができました。そしてその活動に当たっても、先生方にサポートを沢山していただきました。皆さん本当にありがとうございました。

今回の研修旅行が終わり、私が一番大きかったなと思ったのは、さまざまな場面で「各々が考える」という体験をしたことでその習慣、クセがついたことだと思います。日常生活の中で今まではなかった大人な友人を見ることが増え、そもそもの目的にもあった、よりよい大人な人間性がついてきたように感じ、とても良かったと思います。

改めて、今までありがとうございました！これからも Let's Respect×Request！